



北海道財務局
公式マスコットキャラクター
「きたまるん」

オホーツク圏経済情勢報告(令和8年4月判断)

令和8年5月 公表

財務省北海道財務局北見出張所

目 次

概況	2
1. 個人消費	3、4
2. 観光	5
3. 雇用	6
4. 公共事業	7
5. 住宅着工	7
【参考】金融	8

○利用上の注意

- 1 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- 2 本指標は、管内分の数値等を算出するため、公表数値等を当所が独自に集計及び調整したものであり、公表元の数値と必ずしも一致しない部分があります。また、公表数値が不定期に改訂されることもあります。

○符号の用法は次の通りです。

「0」～単位未満 「-」～該当数値なし 「R」～改訂値 「▲」～マイナス 「P」～速報値

総括判断

前回(8年1月判断)	前回比較	今回(8年4月判断)
持ち直しつつある	⇒	持ち直しつつある

※ 判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、12期連続

各項目の判断

	前回(8年1月判断)	前回比較	今回(8年4月判断)
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	⇒	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある
観光	緩やかに回復している	↗	回復している
雇用	緩やかに持ち直しつつある	⇒	緩やかに持ち直しつつある
公共事業	前年を下回る	↗	前年を上回る
住宅着工	前年を下回る	⇒	前年を下回る

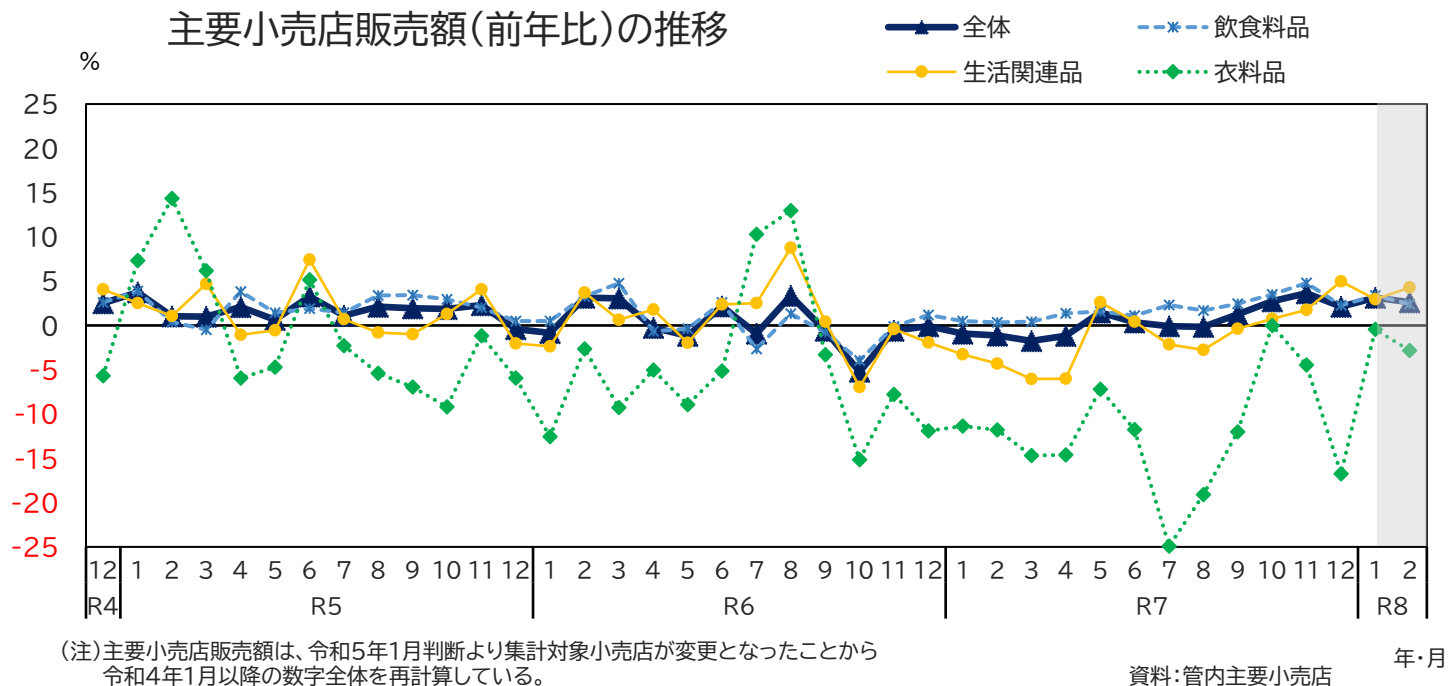
先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(注)8年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1. 個人消費 ～物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある～

主要小売店販売額(前年比)の推移



(注)主要小売店販売額は、令和5年1月判断より集計対象小売店が変更となったことから令和4年1月以降の数字全体を再計算している。

【前年同期比(1-2月)】

全体 : + 2.9%
 飲食料品 : + 2.9%
 生活関連品 : + 3.6%
 衣料品 : ▲ 1.5%

【販売額構成比(1-2月)】

飲食料品 : 74.6%
 生活関連品 : 22.0%
 衣料品 : 3.5%

》 動向

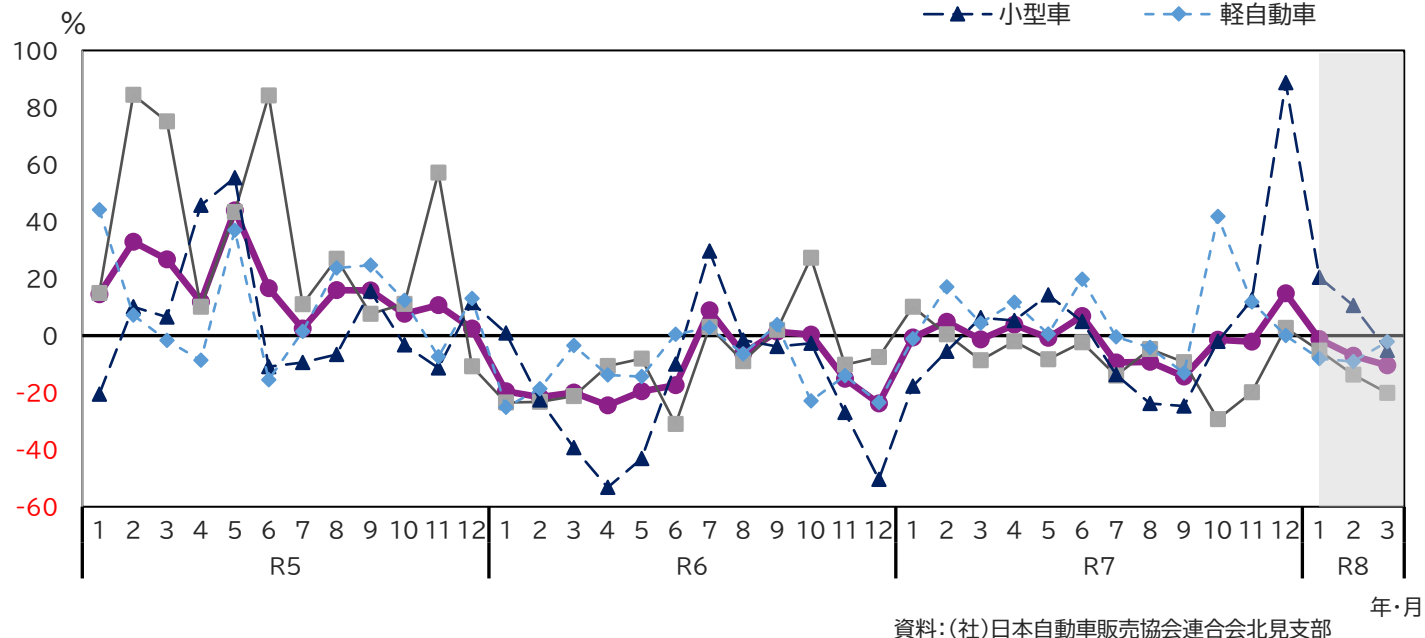
- 飲食料品は、引き続き総菜や冷凍食品を中心に好調だったことから、前年を上回っている。
- 生活関連品は、中東情勢に関する心理的不安感により、一時的に需要が増えたことなどから、前年を上回っている。
- 衣料品は、フォーマルやブランドなどの高額商品の売れ行きが低調だったことなどから、前年を下回っている。

》 企業・関係団体からの生の声(大型小売店)

- 食肉は、飼料価格の高騰に伴い商品価格が上がっている。特に鶏肉は、鳥インフルエンザの影響も加わり、価格の上昇幅が大きい。
- 冷凍食品は、野菜などの生鮮食品が安価になっていることから、代替品としての需要は落ちているが、長期保存ができることもあり、セール日になるとまとめ買いする消費者が多く見られ、全体的な売上は好調である。
- 日用品は、中東情勢の影響でティッシュやトイレトペーパーが不足するという根拠のない情報が広まり、消費者が買い溜めする動きが見られた。
- 衣料品は、冬物のアウター、防寒靴及び防寒肌着の売れ行きが好調だったものの、節約志向の高まりから、フォーマルやブランドなどの高額商品の売れ行きが低調だった。
- 朝は特売商品がよく売れ、夕方値引きシールの付いた商品がよく売れる。消費者において、1円でも安く商品を購入したいという気持ちが強くなっていると感じる。

1. 個人消費 ～物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある～

乗用車新車登録台数(前年比)の推移



【前年同期比(1-3月)】

乗用車計	： ▲ 6.9%
普通車	： ▲ 14.1%
小型車	： + 6.9%
軽自動車	： ▲ 5.8%

【構成比(1-3月)】

普通車	： 39.6%
小型車	： 22.0%
軽自動車	： 38.4%

>> 動向

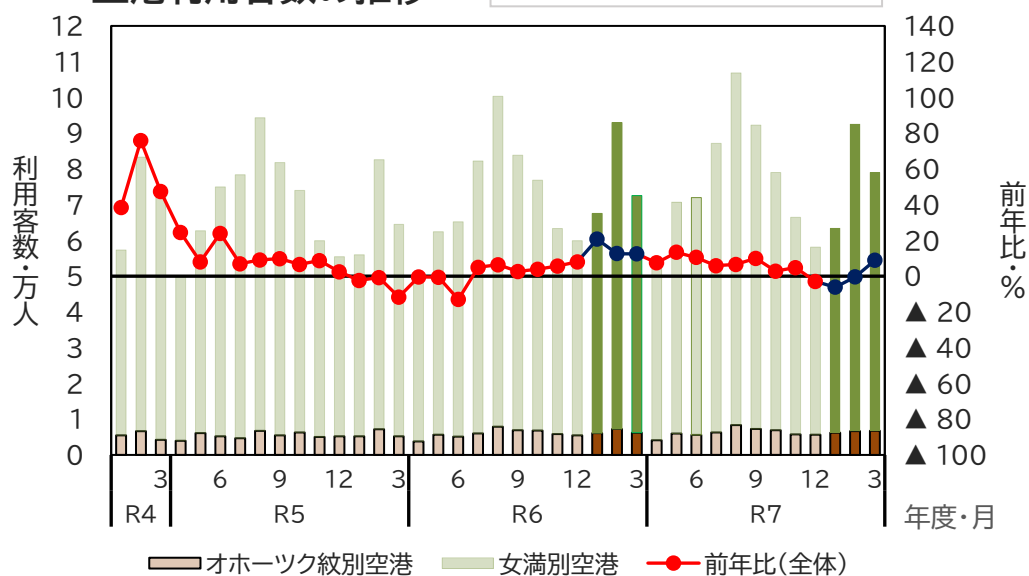
- 小型車は、前年を上回っているものの、普通車及び軽自動車が前年を下回っていることから、乗用車全体では前年を下回っている。
- 軽自動車は、底堅い需要があるものの、認証不正問題(R6.1)の鎮静化後に一時的に増加した需要からの反動減により前年を下回っている。

>> 企業・関係団体からの生の声

- 過度なニュース報道などにより、物価高だから節約しようというマインドが広がっており、その影響が購買意欲の低下にも少なからず結びついているように感じられる。(自動車販売業)
- 物価上昇に伴い節約志向が高まる中、比較的安価で、かつ軽自動車よりも安全性の高い小型車が選ばれる傾向にあると考えられる。(自動車関連団体)
- 自動車部品には原油由来のものが多くあるため、中東情勢に伴う原油高の影響が今後確実に出てくると考えられる。(自動車関連団体)

空港利用客数の推移

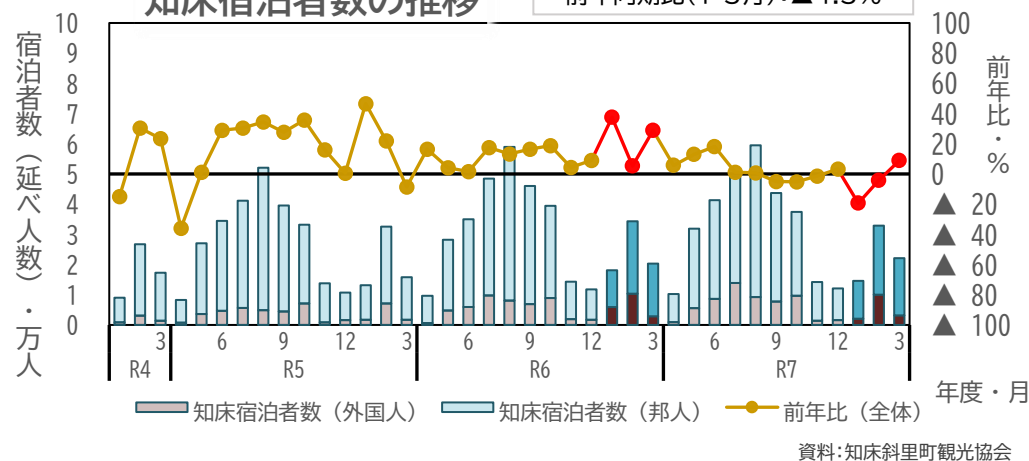
前年同期比(1-3月): +0.8%



資料:北海道エアポート(株)女満別空港事業所、オホーツク紋別空港管理事務所

知床宿泊者数の推移

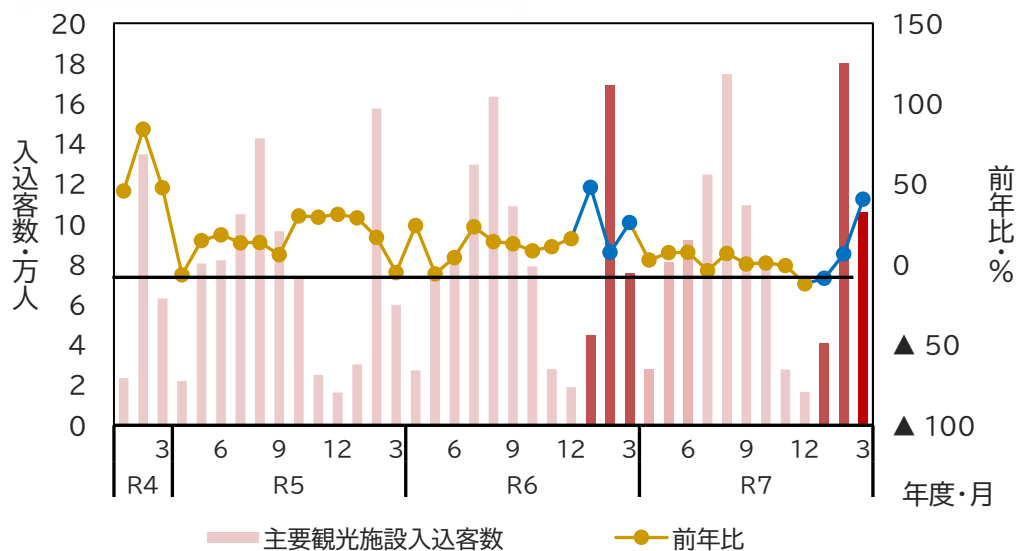
前年同期比(1-3月): ▲4.3%



資料:知床斜里町観光協会

主要観光施設入込客数の推移

前年同期比(1-3月): +13.0%



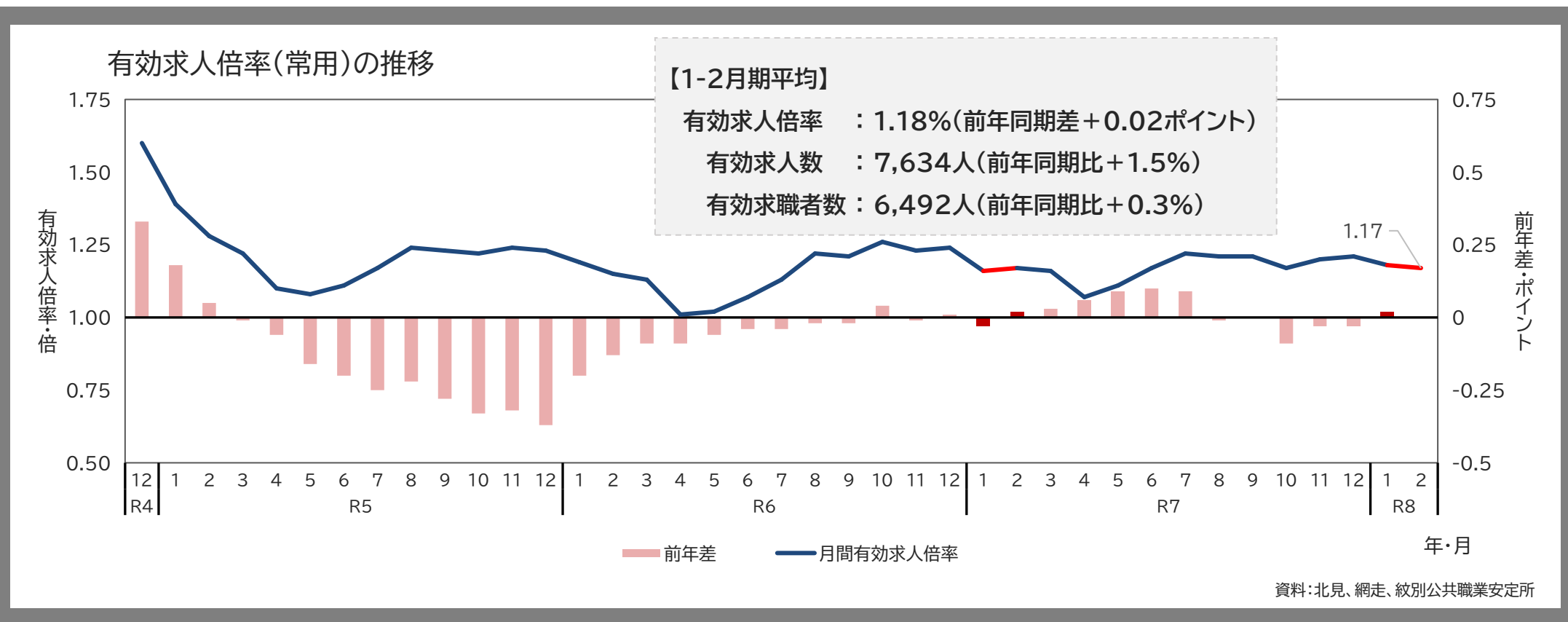
資料:網走市観光協会、オホーツク管内各観光施設

>> 動向

- 空港利用客数は、中部便・東京便の増便により、前年を上回っている。
- 主要観光施設入込客数は、国内客の増加により、前年を上回っている。
- 知床宿泊者数は、海外客の減少により、前年を下回っている。

>> 企業・関係団体からの生の声

- 今年は、前年よりも流氷滞留期間が長かったことから道内客を中心に入込は好調であり、3月の入館者数は前年同期比で約3割の増加となった。(網走地区・観光施設)
- 道外客は、個人客・団体客ともに増加している。今年は前年よりも早期に流氷の接岸があったことや、不安定な海外情勢を加味して国内旅行需要が高まっていることが要因だと考えている。(知床地区・宿泊施設)
- 海外客は、前年は春節が早まり観光客の入込が早かったにもかかわらず、流氷最盛期においても落ち込みは見られなかった。今年度は、春節が流氷最盛期と重なり、前年を下回っている。(観光協会)
- 観光船は、台湾・タイ・中国などアジアからの観光客による早期予約が多く、海外客からの需要は高いと感じている。(紋別地区・観光施設)
- 先行きは、中東情勢の影響により、ガソリン価格の上昇などによる道内旅行需要の低下は見込まれるものの、海外旅行から国内旅行へシフトする動きも見られ、例年並みの入込を見込んでいる。(観光協会)



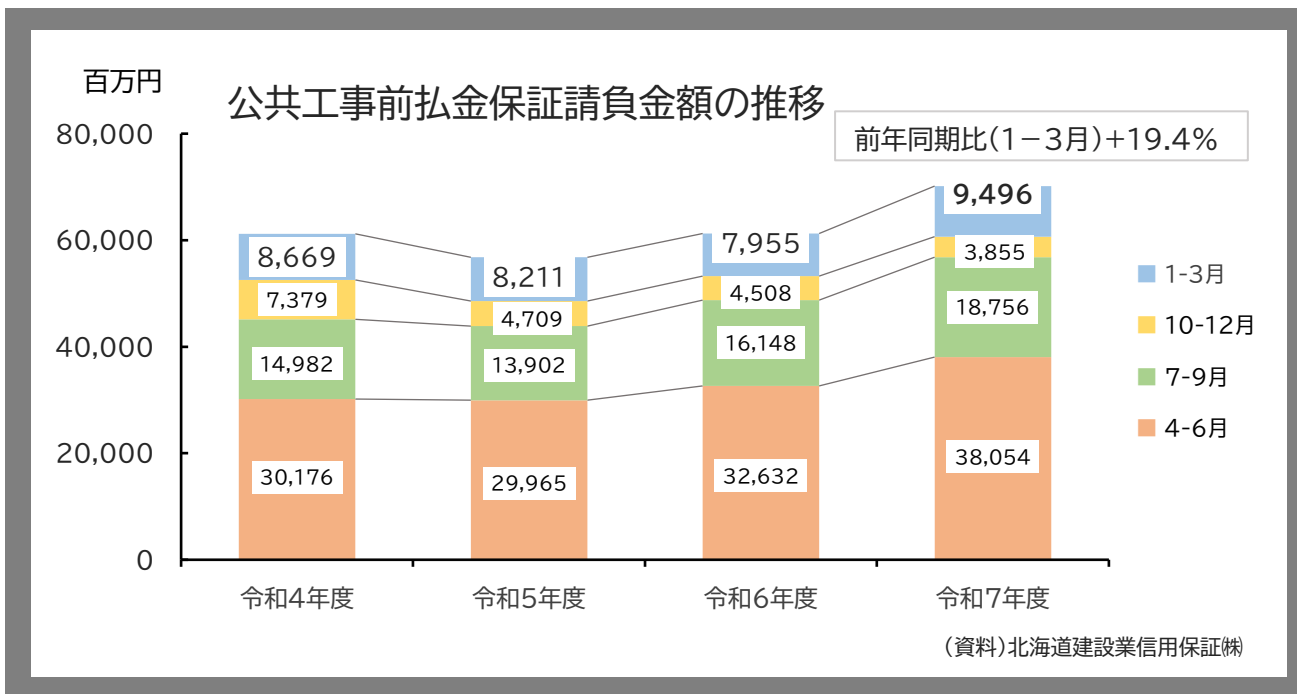
>> 動向

- 有効求人倍率は、有効求人数が増加したことから、前年を上回っている。

>> 企業・関係団体からの生の声

- サービス業(特に、自動車整備業、派遣業)において求人が増えているほか、タクシードライバーやバスの運転手、貨物運送などの運輸業は慢性的に求人がある。(公共職業安定所)
- 人手不足の企業においては、外国人労働者を雇用しているが、居住環境の整備や生活費の補助などに経費がかかるため、負担が大きいと考えられる。(公共職業安定所)
- 当社で働く魅力をSNSや書籍など様々な媒体で発信することにより、採用に繋がようとしている。(宿泊業)
- 慢性的な人手不足であり、営業マンが足りていない。今は何とか踏みとどまっているが、2、3年後を考えるとかなり厳しい状況。(自動車販売業)
- 退職者もいたが、従業員からの紹介により中途採用を行い、適正な状況を保っている。(製造業)

4. 公共事業 ～前年を上回る～



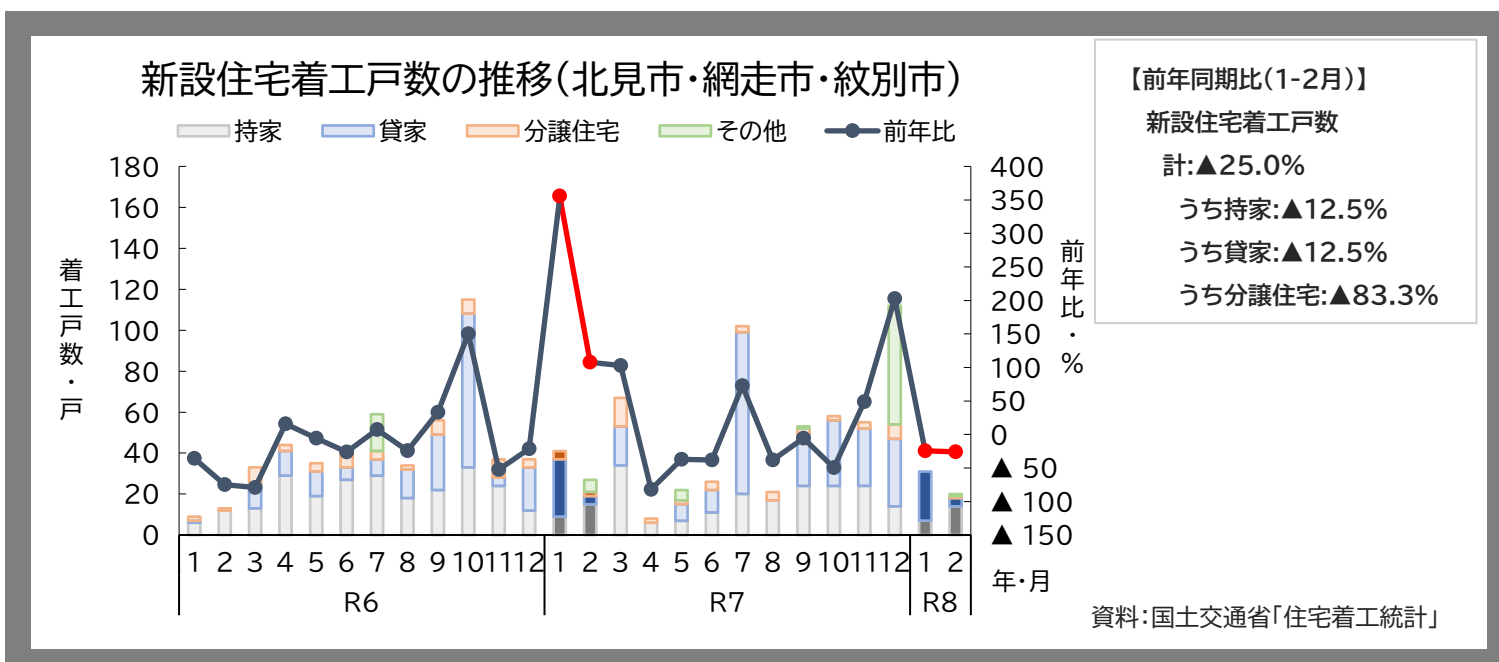
》》 動向

- 公共工事を前払金保証請負金額で見ると、第4四半期は前年を上回っている。

》》 企業・関係団体からの生の声

- 建築工事においては、今後も設計単価の上昇が見込まれ、新規建替えを行うよりも既存の建物の維持更新を行う傾向が続くと予想。(建設業)
- 土木工事については、資材価格は高騰しているが、必要な工事は継続するため、件数は横ばいの見込み。(建設業)
- 中東情勢の影響により、石油製品である塩ビ管やアスファルト合材などの価格が上昇しているほか、流通も滞っており手に入りづらい状況。(建設業)

5. 住宅着工 ～前年を下回る～

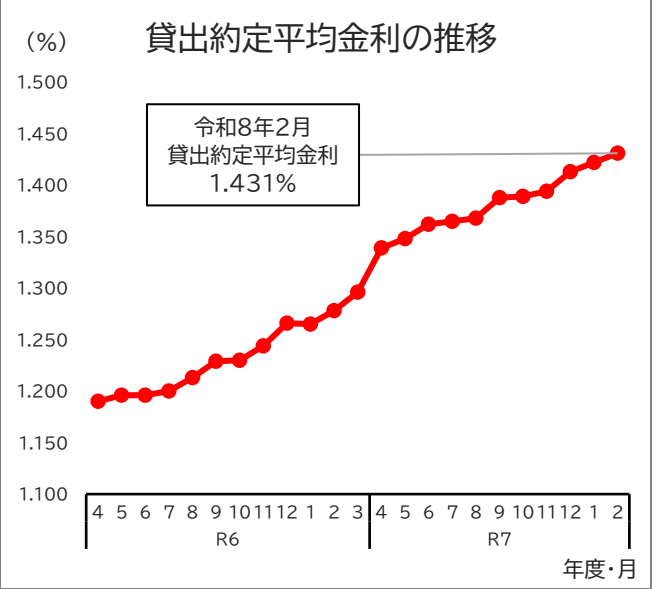
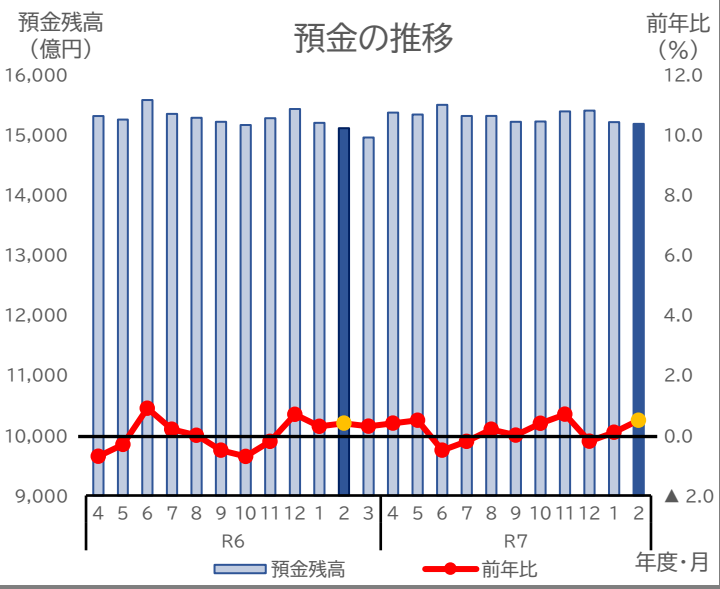
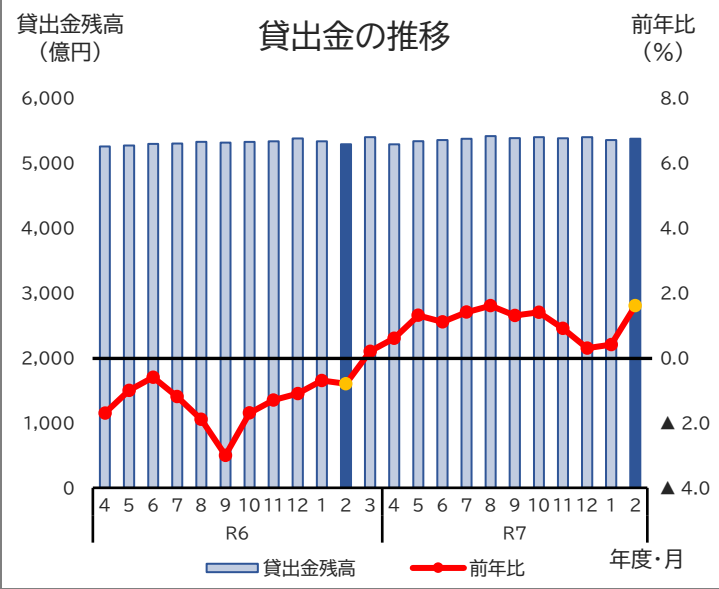


》》 動向

- 管内3市の新設住宅着工戸数を見ると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を下回っている。

》》 企業・関係団体からの生の声

- 中東情勢の影響により、石油由来製品の資材入荷が滞っており、着工を延期せざるを得ないケースが出てくる可能性もあるのではないかと。(金融機関)
- 物価高の影響もあり、新築アパートよりも家賃が手頃な築10年程度の物件を選ぶ顧客が増えている印象。(不動産業)



貸出金・預金・貸出約定平均金利の推移(銀行・信用金庫)

(単位:億円、%、ポイント)

年度	月	貸出金残高				預金残高				貸出約定平均金利			
		前年比	設備資金	運転資金	地方公共団体	前年比	前年比	前年比	前年比	前年差			
4.	3	5,402	▲ 0.7	2,264	1.8	1,842	▲ 1.8	1,297	▲ 3.2	14,509	3.4	1.131	▲ 0.018
5.	3	5,403	0.0	2,353	3.9	1,852	0.6	1,198	▲ 7.6	14,681	1.2	1.148	0.017
6.	3	5,385	▲ 0.3	2,381	1.2	1,809	▲ 2.3	1,195	▲ 0.2	14,900	1.5	1.176	0.028
7.	3	5,394	0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	4.4	14,949	0.3	1.296	0.120
6.	4	5,250	▲ 1.7	2,384	1.0	1,742	▲ 2.9	1,124	▲ 5.2	15,308	▲ 0.7	1.190	0.040
5	5,262	▲ 1.0	2,384	1.2	1,733	▲ 3.3	1,145	▲ 2.1	15,250	▲ 0.3	1.196	0.042	
6	5,289	▲ 0.6	2,379	0.9	1,765	▲ 1.6	1,145	▲ 2.1	15,575	0.9	1.196	0.042	
7	5,294	▲ 1.2	2,379	1.2	1,769	▲ 3.8	1,145	▲ 2.1	15,343	0.2	1.200	0.049	
8	5,320	▲ 1.9	2,386	1.3	1,789	▲ 5.3	1,145	▲ 2.9	15,278	▲ 0.0	1.213	0.060	
9	5,307	▲ 3.0	2,391	1.0	1,829	▲ 6.6	1,086	▲ 4.8	15,210	▲ 0.5	1.229	0.067	
10	5,319	▲ 1.7	2,392	1.6	1,841	▲ 5.0	1,086	▲ 3.1	15,158	▲ 0.7	1.230	0.068	
11	5,328	▲ 1.3	2,407	2.0	1,835	▲ 4.4	1,086	▲ 3.0	15,271	▲ 0.2	1.244	0.084	
12	5,374	▲ 1.1	2,415	1.6	1,840	▲ 4.9	1,118	▲ 0.2	15,423	0.7	1.266	0.107	
1	5,328	▲ 0.7	2,413	1.6	1,755	▲ 5.7	1,161	2.9	15,194	0.3	1.265	0.101	
2	5,283	▲ 0.8	2,416	1.9	1,691	▲ 7.3	1,176	3.8	15,105	0.4	1.278	0.099	
3	5,394	0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	4.4	14,949	0.3	1.296	0.120	
7.	4	5,282	0.6	2,453	2.9	1,666	▲ 4.4	1,163	3.4	15,364	0.4	1.339	0.149
5	5,330	1.3	2,452	2.8	1,676	▲ 3.3	1,202	5.0	15,332	0.5	1.348	0.153	
6	5,346	1.1	2,447	2.9	1,698	▲ 3.8	1,200	4.8	15,494	▲ 0.5	1.362	0.166	
7	5,367	1.4	2,431	2.2	1,736	▲ 1.9	1,200	4.8	15,308	▲ 0.2	1.365	0.165	
8	5,408	1.6	2,440	2.3	1,768	▲ 1.2	1,200	4.8	15,309	0.2	1.368	0.156	
9	5,376	1.3	2,435	1.8	1,803	▲ 1.4	1,138	4.7	15,212	0.0	1.388	0.159	
10	5,392	1.4	2,442	2.1	1,811	▲ 1.6	1,140	4.9	15,215	0.4	1.389	0.159	
11	5,375	0.9	2,447	1.7	1,791	▲ 2.4	1,138	4.7	15,384	0.7	1.394	0.151	
12	5,391	0.3	2,465	2.1	1,789	▲ 2.8	1,138	1.7	15,395	▲ 0.2	1.413	0.147	
1	5,348	0.4	2,459	1.9	1,732	▲ 1.3	1,157	▲ 0.4	15,206	0.1	1.422	0.157	
2	5,368	1.6	2,460	1.8	1,725	2.0	1,182	0.6	15,177	0.5	1.431	0.153	

※管内に所在する銀行、信用金庫の本支店分の合計。(ゆうちょ銀行を含まない。)
 ※R7.7判断までは、貸出金・預金それぞれ直近2ヶ月の平均月末残高を基準としていたが、R7.10判断より、直近月末残高を基準としている。
 資料:北海道財務局北見出張所

》金融機関からの生の声

- 設備資金は、建築費の増加等、物価高の影響による単価上昇により、不動産業を中心に増加している。
- 運転資金は、人件費増加や資材高騰により、公共工事等の資金回収までのつなぎ資金が増加しているほか、物価高による仕入資金増加により、漁業・加工業でも増加している。
- 預金は、定期預金のキャンペーンによる個人預金の増加により、前年を上回っている。
- 貸出約定平均金利は、日銀の政策金利見直し等にともない、上昇している。

【問い合わせ先】

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

財務省 北海道財務局 北見出張所 財務課

〒090-0018 北見市青葉町6番8号 北見地方合同庁舎
TEL 0157(24)4167

本報告は、北海道財務局北見出張所ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス：<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>

北海道財務局北見出張所

検索



オホーツクール
cool!